

# 目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[関連製品](#)

[VLAN 情報の取得](#)

[タスク](#)

[手順説明](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

Catalyst スイッチは、Virtual Local Area Networks ( VLAN; 仮想ローカル エリア ネットワーク ) のコマンドライン操作または VLAN トランク プロトコル ( VTP ) によって設定されます。どちらの場合も、Simple Network Management Protocol ( SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル ) 情報が VLAN ごとにアクセスされることがあります。この情報にアクセスするには、設定された VLAN を特定する必要があります。このドキュメントでは、CatOS または IOS が稼働する Catalyst スイッチで設定された VLAN を特定する方法を紹介します。

## [はじめに](#)

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

### [前提条件](#)

この設定を開始する前に、次の前提条件を満たしていることを確認してください。

- Catalyst スイッチ コマンドに精通していること
- snmpget や snmpwalk などの SNMP ツールおよびコマンドに精通していること

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CatOS 6.3(4)
- Catalyst IOS バージョン 12.0(5)WC5a
- Catalyst 3524XL

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 関連製品

この設定は、次のバージョンのハードウェアとソフトウェアにも使用できます。

- その他の Catalyst スイッチ
- その他の Catalyst IOS リリース

## VLAN 情報の取得

### タスク

このセクションでは、デバイス上のアクティブな VLAN を特定するために、[CISCO-VTP-MIB](#) を使用し、[vtpVlanState](#) オブジェクトにアクセスします。

### 手順説明

次の手順に従ってください。

1. 対象デバイス上で `snmpwalk` を実行します。以下に例を示します。

```
nms-server2:/home/ccarring> snmpwalk -c public 14.32.100.10 vtpVlanStateCISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.1 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.2 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.6 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.7 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.8 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.11 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.12 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.14 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.18 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.19 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.20 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.21 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.41 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.42 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.43 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.44 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.100 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.101 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.123 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.401 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.1002 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.1003 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.1004 = INTEGER: operational(1)CISCO-VTP-MIB::vtpVlanState.1.1005 = INTEGER: operational(1)
```
2. 返された各オブジェクト内の最後の番号は VLAN ID です。それぞれの VLAN には、SNMP の完全な情報があります。[vtpVlanTable](#) オブジェクトを照会すると、完全な情報が得られます。関連するオブジェクトを表に示します。[vtpVlanName](#) か。VLAN の名前 [vtpVlanIndex](#) か。VLAN の一意な識別番号

## 確認

提供された情報が正しいことを確認するには、次のステップに従ってください。

1. スイッチに Telnet 接続をします。

2. IOS が稼働する Catalyst で、次に示すように **show vlan brief** コマンドを発行します。 nms-

```
3524x1-b#show vlan brief
VLAN Name Status Ports
-----
1 default active Fa0/3, Fa0/5, Fa0/6, Fa0/7, Fa0/8, Fa0/9,
Fa0/10, Fa0/11, Fa0/12, Fa0/13, Fa0/14, Fa0/15, Fa0/16, Fa0/18, Fa0/19, Fa0/20, Fa0/21,
Fa0/22, Fa0/232
vlan2 active6
vlan6 active Fa0/1, Fa0/24, Gi0/17
vlan7 active8
VLAN0008
active11
elan1 active12
VLAN0012 active14
VLAN0014 active18
vlan18-spnms active19
vlan19-
spnms active20
vlan20-spnms active21
vlan21-spnms active41
URT_Logon active42
URT_Priveleged active43
URT_12_Logon active44
URT_12_Priveleged active100
vlan-100 active
Fa0/2, Fa0/4, Fa0/17
101
VLAN0101 active123
VLAN0123 active401
VLAN0401 active1002
fddi-
default active1003
token-ring-default active1004
fddinet-default active1005
trnet-default
active
```

3. この情報を、最初に収集した SNMP 出力と比較します。VLAN 名と番号がこれらの値と一致します。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

## 関連情報

- [SNMP を使用する Catalyst での VLAN の追加、修正、削除の方法](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)